

国立国会図書館サーチ  
連携マニュアル

平成26年6月1日  
国立国会図書館

## 目次

国立国会図書館サーチとの連携について .....	1
0. 連携スケジュール概要 .....	3
1. お申込み（4月～12月） .....	4
2. ヒアリングシートの提供（～12月） .....	5
3. スケジュール調整（1月～2月） .....	6
4. サンプルデータの抽出・送付 .....	7
5. 接続・連携試験 .....	8
6. 運用設計・公文書取り交わし .....	9
7. リリース前 全件データ収集 .....	10
8. リハーサル .....	11
9. 本番リリース .....	12
10. 定常運用 .....	13
ご連絡・お問い合わせ先 .....	14

## 国立国会図書館サーチとの連携について

国立国会図書館サーチ（以下「NDLサーチ」という）は、国立国会図書館の所蔵情報をはじめ、国内の各機関が持つ豊富な「知」をご活用いただくためのアクセスポイントとなることを目指し、開発されました。

そして、このNDLサーチの特徴のひとつとして、WebAPIを経由した外部サービスとの相互連携機能を備えていることが挙げられます。

この「国立国会図書館サーチ連携マニュアル（以下「マニュアル」という）」は、WebAPIを用いてNDLサーチと連携を希望する機関の方向けに、申込みから連携開始までの流れをご説明するものです。

### A) 連携の基本事項

連携対象など、お申込み前に以下のページをご参照ください。

NDLサーチについて>連携を希望される機関の方へ  
<http://iss.ndl.go.jp/information/renkei/>

### B) 機能・環境

NDLサーチへのデータ連携に際しては、貴機関構築のシステム（以下、「連携システム」という）にWebAPIを実装していただく必要があります。

※WebAPI連携の技術的な要件については、ガイドラインを公開しておりますのでご参照ください。

「WebAPIによるシステム連携ガイドライン」  
<http://iss.ndl.go.jp/information/renkei/#2>

○DC-NDL (RDF)、(Simple)でのデータ提供をご検討いただく機関の方には、出力データを確認いただくためのスキーマも提供しておりますので、ご希望の場合は、申込み時に記載願います。

→「1.お申込み」を参照。

### C) 再連携、データ入替えについて

既にNDLサーチと連携いただいている場合、システム改修に伴って連携方法を変更する場合についても再連携のお申込みが必要となります。

更に、システム改修に伴って書誌詳細画面の URL や書誌 ID を変更される場合などは、データの入替えが必要となる可能性があります。

○システムの改修等を予定されている場合、お早目に NDL サーチお問い合わせフォームよりご連絡をお願いします。

## 0. 連携スケジュール概要

国立国会図書館サーチ（以下「NDLサーチ」という）と連携いただく場合、以下の手順で連携を開始します。

#	概要	内容	想定される時期
事前調整			
1	お申込み	NDLサーチのお問い合わせフォームよりお申し込みください。	随時 (4月～12月)
2	ヒアリングシートの提供	「連携ヒアリングシート」などの必要資料をご提供ください。	お申出後随時 (～12月)
3	スケジュール調整	連携スケジュールにご対応いただけるかご確認ください。	1月～2月
テスト			
4	サンプルデータの抽出・送付	データ出力の確認を行うため、サンプルデータをご提供ください。	スケジュール 確定後おおよそ3か月
5	接続・連携試験	システム間の接続・連携状況を試験します。	
6	運用設計 文書取り交わし	リリース後の収集スケジュール等、運用について問題がないか、ご確認ください。 貴機関と国立国会図書館間に於いて、連携についての公文書を取り交わします。	
リリース			
7	全件収集	NDLサーチからリクエストを行い、データ全件を収集します。	連携試験後おおよそ3～4か月
8	リハーサル	NDLサーチでのリハーサル実施後、リリース予定日をご連絡します。	
9	本番リリース	連携機能のリリースを行います。	
定常運用			
10	定常運用	定常的なデータ更新を開始します。	

※想定される時期は、実績を元に記載しています。連携方法等によって変更する可能性があります。

## 1. お申込み（4月～12月）

■NDLサーチの「お問い合わせ」フォームより、お申し込みください。

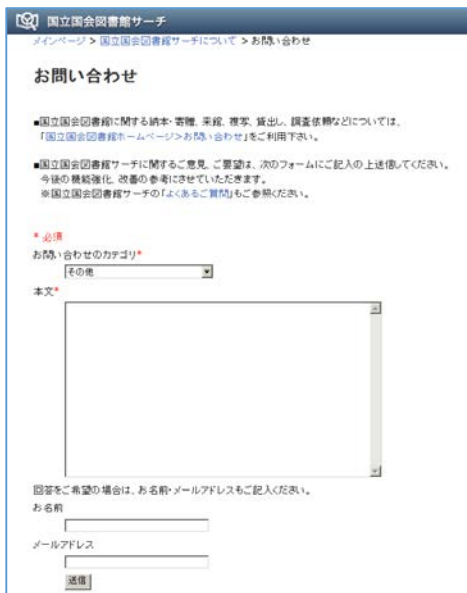
### A) お申込み方法

「お問い合わせ」フォームを使用して、以下の項目を記入の上、お申し込みください。

NDLサーチについて>お問い合わせ  
<https://iss.ndl.go.jp/information/contact/>

#### 記入項目

カテゴリ選択	その他
本文1行目	「WebAPI連携希望」
必要な情報	機関名、部署名、担当者名、連絡先（電話）、連携システム名、URL
お名前	ご担当者のお名前
メールアドレス	今後、国立国会図書館からご連絡するメールアドレス（個人、機関どちらでも可）



○お問い合わせフォームからのお申込み時、説明資料等は不要です。

○連携に必要な資料等は、お申込み後、国立国会図書館からお送りします。  
→「2.ヒアリングシートの提供」参照。

※DC-NDL (RDF)、(Simple) でのデータ提供をご検討いただく機関の方には、出力データを確認いただくためのスキーマも提供しております。本文に「DC-NDL スキーマ希望」とお書きください。

## 2. ヒアリングシートの提供（～12月）

■「連携ヒアリングシート」ご提供ください。

### A) 「連携ヒアリングシート」の提供

連携方式やスケジュールを、国立国会図書館にて検討するための情報をご提供いただくため「連携ヒアリングシート（以下、シート）」の記載をお願いしています。なお、入力していただくシートは電子メールにてお送りします。

参考：以下にヒアリングシートの見本を掲載しています。

<http://iss.ndl.go.jp/information/renkei/#5>

- シートは、初めからすべての項目を埋めていただく必要はありません。
- 連携方法と、シート「(2) 初期ヒアリング」を埋めていただきましたら、お早目にご返送ください。未確定の部分はその旨を記載願います。

このシートでのやり取りを行わせていただき、連携方式などを決定します。

なお、技術的な確認などで、連携方式の決定までにお時間を頂戴することがあります。ご了承ください。

### B) その他資料の提供

合わせて、以下の資料についても可能な場合はご用意ください。こちらにつきましては、連携をスムーズに行うための資料ですので、必須ではありません。

#### ① インタフェース仕様書

連携システムに実装していただくインタフェースの仕様書。

NDL 検索側で個別の設定が必要な項目がないかを確認します。

#### ② フォーマット仕様書

連携システムの出力項目等データフォーマットの仕様書。

NDL 検索側で個別のマッピングが必要な項目がないかを確認します。

#### ③ マッピング定義書

連携システム内のデータ形式から出力形式へのマッピング定義書。

出力いただいている項目以外に必要な項目が不足していないか等を確認します。

### 3. スケジュール調整（1月～2月）

■連携スケジュールにご対応いただけるか、ご確認ください。

#### A) 連携スケジュールの確認

シートにてご提供いただいた情報を元に、国立国会図書館でスケジュールを検討します。検討後、貴機関に結果をお伝えし、スケジュールをご確認いただきます。

- スケジュールに対応可能というご判断をいただいた後、テストを進めます。
- スケジュールに間に合わない個別事案がある場合は、お早目にご連絡ください。
- 同時期にお申込みいただいた各機関との調整を行いますので、個別のスケジュール対応が難しい場合があります。ご了承ください。



## 4. サンプルデータの抽出・送付

■データ出力の確認を行うため、サンプルデータをご提供ください。

### A) サンプルデータの提供

連携方式決定後、出力準備が整った段階で、データの出力・データ変換（マッピング）がうまく処理できているか、国立国会図書館で検証を行います。

検証のため、1,000 件程度のサンプルデータを抽出し、CD-R 等の電子媒体での郵送や、電子メールに添付等の方法でお送りください。

- 連携システムに NDL サーチからリクエストしてデータ取得できる状態になっている場合は、サンプル提供を行わずに NDL サーチから直接リクエストしてサンプルデータを検証することもできます。
- 直接リクエストをご希望される場合は、サンプルデータを取得するためのリクエスト URL をご提供ください。

### B) サンプルデータの確認・修正

国立国会図書館で行う検証結果に問題があった場合、問題点を修正していただいた上で、再度サンプルデータをお送りいただく必要があります。

- サンプルデータの検証～修正が完了するまでには時間がかかる場合があります。連携方式の決定後、早期にサンプルデータをお送りいただければ、検証作業を先行して進めることが可能です。
- 万が一、全件収集までにデータの修正が完了しなかった場合、リリース（連携開始）の時期を見直させていただくことがあります。

### C) サンプルデータについて

サンプルデータについては、主に以下の点にご留意ください。

- データの年代、資料の内容等に偏りが無いデータ抽出をお願いします。例えば、「最新のデータのみ 1,000 件」というデータは、検証に不向きです。
- 作成年代やコレクションによってデータの形式が異なる等、提供データに形式上の差異がある場合は、各種のデータが含まれるように抽出をお願いします。
- 古い資料、郷土資料等、特殊なデータが多いときは、それぞれについて十分な検証が行えるよう、サンプルデータの件数を増やしていただくこともあります。

## 5. 接続・連携試験

■接続可否・連携状況を試験するため、リクエスト URL 等をご提供ください。

### A) 試験概要

連携システムにリクエストをする試験を、時期を分けて実施します。試験結果により、連携システムの状況確認をお願いすることがあります。ご了承ください。

※「シート」ご提供時にリクエスト URL が未定であった場合、試験実施までに、リクエスト URL を確定してください。

※NDL サーチ検証用環境からのテストとなりますので、この段階でデータが外部に公開されることはありません。

(参考) リクエスト試験の概要

試験名称 (時期)	NDL サーチ : 検証内容	連携システム : 試験時のシステムの状態
ネットワーク 接続試験	連携システムに、 接続できるか。ネ ットワークの状態 確認。	NDL サーチがリクエスト URL に接続した際 に、何らかの応答が行える状態。 ※データが返戻されない状態でもよい。
直接リクエスト 試験	直接リクエストを 行い、収集したサ ンプルデータが、 正しく登録できる か。	リクエスト URL からデータが返戻可能な状 態。 ※サンプルデータを取得するだけのため、デー タ修正中、又は、全件が返戻されない状態でも よい。
連携試験	・データ収集に、 どれくらいの時間 がかかるか。 ・継続的な収集・ 運用に、問題がな いか。	リクエスト URL からデータが返戻可能な状 態。 ※データは収集しないが、全件に近い件数が返 戻される状態が望ましい。

※リクエストがタイムアウトするなどの事象が発生した場合は、連携システムの状況確認をお願いすることがあります。

## 6. 運用設計・公文書取り交わし

■リリース後の収集スケジュールに問題がないか、ご確認ください。

■公文書（回答文）を確認・押印の上、ご返送ください。

### A) データ更新頻度・想定量等の検討

連携試験が終了した段階で、リリース後にどのくらいの頻度で収集を実施するか、どの時間帯にリクエストを実施するか等、国立国会図書館で検討します。

シートにてご提供いただいた以下の項目を元に検討します。

- ・更新頻度/件数
- ・運用上の制約事項についての確認事項
- ・削除データの提供可否（ゆにかねっと提供館を除く）
- ・削除レコードのサポート（OAI-PMH 連携のみ）

### B) NDL サーチからの収集頻度・リクエスト時間帯の確認

国立国会図書館から検討結果をお伝えします。

貴機関にて以下の内容等をご確認いただきます。

- ・収集頻度
- ・リクエスト時間帯

この内容については「収集スケジュールに関するお願い」としてリリース後に再度ご確認ください。後、確定版として送付します。

※今後の運用に関する大事な内容ですので、担当者を変更される場合も引継ぎをお願いします。

### C) 連携に関する公文書の取り交わし

新規連携、又は連携方式変更の場合、連携許諾の公文書を取り交わさせていただきます。国立国会図書館で案を作成し、電子メールにて案文を送付します。

問題ないことを確認いただいた後、確定版を郵送しますので、必要事項を記入・押印の上、ご返送ください。

※総合目録ネットワーク（以下、ゆにかねっと）のデータ提供方法切替えの場合は、公文書の取り交わしは不要です。

## 7. リリース前 全件データ収集

■リリース前に、連携システムから登録予定の全件データを収集します。

2つの方式をご用意しています。

### A) 方式1：NDL サーチからの直接リクエストによる全件データ収集

NDL サーチから連携システムに直接リクエストを行い登録予定データの全件を収集します。

データの規模によっては、収集は時間がかかる場合があるため、全件を分割して収集する可能性があります。その場合、あらかじめ登録件数の多い期間などを確認させていただくことがあります。

### B) 方式2：媒体による全件データのご提供

登録予定データの全件を、連携システム側で抽出・送付される場合は、国立国会図書館宛に、DVD-R等の媒体をお送りください。

○データ件数が少ない場合は、電子メールに添付いただく方法でも結構です。

○データを抽出いただく場合は、NDL サーチから収集を行う出力形式でデータを抽出してください。例えば、OAI-PMHによる連携の場合は、OAI-PMHで出力される<header>等そのまま抽出してください。

※ご注意※ 全件データ抽出・収集後の連携システムでのデータ更新

全件を抽出後に、連携システムで更新されたデータは、差分データとしてNDLサーチからリリース後に収集します。

このため、差分データの件数が多い場合、定常更新開始が遅れる可能性があります。大量のデータ更新を予定されている、若しくは発生した場合は速やかにご連絡ください。

### (参考) 全件データを収集する回数

テスト期間中、全件収集を2回試行できるようスケジュールを設定しています。

○1回目は、リハーサルを実施するための全件収集です。

○2回目は、リハーサル実施後のデータ修正を想定した全件収集です。

※全件収集を2回実施するか否かは、リハーサルの状況や、全件データのご提供方法にもよりますので、必要に応じて、国立国会図書館からご連絡します。

## 8. リハーサル

■NDL サーチでリハーサル実施後、リリース予定日をご連絡します。

### A) リハーサルの実施

全件データの取得後、国立国会図書館に於いて、リリース時と同じ手順で NDL サーチへのデータ登録などの作業を 2 回リハーサルします。実施後、結果をお伝えします。

- 不具合が判明した場合、データ修正などをお願いすることがあります。
- 不具合の状況により、再度公開用データ全件を抽出していただく、若しくは NDL サーチから収集し、同じ手順でリハーサルを実施する場合があります。
- 1 回目のリハーサル時点で問題がなかった場合など、リハーサルを 1 回のみとすることもあります。
- ゆにかねっとデータ提供館などデータ件数が多い場合、リハーサルを 3 回実施することもあります。

### B) リリース予定日の確定

リハーサルの結果にも問題がないことが確認できた後、リリース予定日を確定してご連絡します。

リリース予定日が決まった後、国立国会図書館での広報（予告）を実施します。

広報対象：

- NDL サーチ API 利用者向けご案内

電子メールにて、新規連携先が追加されることなどをご案内します。

- ゆにかねっと事業ホームページ（ゆにかねっとデータ提供館の場合のみ）

<http://iss.ndl.go.jp/somoku/>

ホームページの「お知らせ」欄に、データ入替えが実施されることを掲示します。

## 9. 本番リリース

■国立国会図書館でリリース確認後、完了をご連絡します。

### A) リリースの実施

国立国会図書館が NDL サーチ本番環境へのデータ登録を実施します。データ登録に問題ないことを確認した後、リリース完了をご連絡させていただきます。

### B) リリース後の広報

リリース完了を確認した後、NDL サーチのページにて広報を行い、検索対象データベース一覧など必要な更新を行います。

○国立国会図書館サーチお知らせ

<http://iss.ndl.go.jp/information/>

○国立国会図書館サーチについて>検索対象データベース一覧

<http://iss.ndl.go.jp/information/target/>

○ゆにかねっと事業ホームページ（ゆにかねっとデータ提供館の場合のみ）

<http://iss.ndl.go.jp/somoku/>

※ご注意※ ゆにかねっとの相互貸借について

リリースが完了しますと、システムを通じた相互貸借依頼が生じる可能性があります。データ提供館を追加された場合など、参加館情報が更新されているかどうか確認をお願いします。

※ご注意※ ゆにかねっとのデータ登録結果の通知メールについて

OAI-PMH に連携方法を切り替えていただいた場合も、データ登録処理が済んだタイミングで、登録処理完了メールが送られます。通知先のメールアドレスの更新が不要か参加館情報の確認をお願いします。

データ登録結果通知メールの宛先メールアドレスは1つのみ登録が可能です。

## 10. 定常運用

■リリース完了後、定常的なデータ更新を開始します。

### A) 定常更新の開始

差分データの投入が完了した後、「6.運用設計」時に調整させていただいた収集頻度に基づいて、NDLサーチの定常的なデータ更新を開始します。

- 収集頻度等を記載した「収集スケジュールに関するお願い」を確定し送付します。  
※確定した内容に変更が生じた場合、早目にご連絡をお願いします。
- 差分データが多い場合、定常更新開始までに時間がかかることがあります。
- 定常更新開始後の状況により、収集頻度や時間帯を見直す等、再度ご相談させていただく場合があります。
- 更新開始以降は作業していただくことは通常ありませんが、障害が発生した場合ご対応いただくことがあります。
- 既存連携から連携方法を切り替えていただいた場合で、不要となったFTPアカウント等は、データ更新の定常化を確認後、国立国会図書館にて廃止します。

## ご連絡・お問い合わせ先

国立国会図書館サーチとの連携について：

国立国会図書館 電子情報部 電子情報サービス課 情報アクセス提供係  
TEL：03-3581-2331(代表)

総合目録ネットワーク（ゆにかねっと）について：

国立国会図書館 関西館 図書館協力課 協力ネットワーク係  
TEL：0774-98-1455